# 津市災害時受援計画を大幅に改定
# 新たに津市道路啓開計画を策定

## ～令和6年能登半島地震を踏まえ災害対応力を強化～

津市防災会議

津市図上訓練

津市防災訓練

令和7年2月20日

# 令和6年度の取組 「津市災害時受援体制整備事業」

◆ 令和6年能登半島地震では、現場への交通ルートの確保や応援部隊の受入れ等の課題が顕在化したことから、本市における受援体制をより確実なものとするための取組を実施

| | |
|---|---|
| 令和6年<br>4月11日 | **令和6年能登半島地震に学ぶ災害対応研修会**<br>令和6年能登半島地震における救助部隊の活動や基礎自治体の対応等の状況、現地活動で直面した課題等について市幹部職員を対象とした研修を実施 |
| 4月22日 | **災害時受援体制整備事業検討会**<br>大規模災害時における本市と各防災機関相互の連携、広域応援部隊の受入れ等について確認、協議 |
| 5月22日 | **令和6年度津市災害対策図上訓練**<br>受援体制の構築を主眼とし、人命救助を任務とする部隊の受入れに関する手順や救助に必要な情報の収集、伝達方法を確認し、受援業務に係る対応力向上のための訓練を実施 |
| 11月16日 | **令和6年度津市総合防災訓練**<br>検討会の意見、図上訓練の実証を踏まえ、「津市災害時受援計画（修正案）」、新たに策定する「津市道路啓開計画（案）」の実効性について検証等を行い、受援体制の充実・強化を図るため訓練を実施 |

令和6年度津市防災会議（令和6年11月8日及び令和7年2月7日）において審議

**津市地域防災計画の修正・津市災害時受援計画の改定・津市道路啓開計画の策定**

# 津市災害時受援計画令和6年度修正の概要①

**修正のポイント**

**令和6年能登半島地震での災害対策対応の課題を受け、全国から駆けつける人命救助等の応援部隊を円滑に受け入れることができるよう、広域応援部隊の円滑な活動のための情報共有や活動調整等について大幅に改定**

## 内容1　全体構成の見直し

**【修正概要】**

**人命救助を最優先に行うため、救助関係機関の行動に合わせた本市の受援体制の整備を重視**

**修正前の「第5章　その他」から「第2章　救助関係機関等の受入れ」として項目を新設**

**【修正前の構成】**

第1章　総論
第2章　支援物資の受入れに関する計画
第3章　災害ボランティアの受入れに関する計画
第4章　自治体応援職員の受入れに関する計画
第5章　その他受援活動に関する事項
　第1節　自衛隊
　第2節　緊急消防援助隊
　第3節　警察
　第4節　医療機関
　第5節　災害時応援協定締結団体

**【修正後の構成】**

第1章　総論
第2章　救助関係機関等の受入れに関する計画
　第1節　活動概要
　第2節　救助関係機関等の活動の流れ
　第3節　情報の共有・活動の調整
　第4節　救助関係機関等
　　1　自衛隊
　　2　警察
　　3　消防
　　4　その他の関係機関
第3章　支援物資の受入れに関する計画
第4章　自治体応援職員の受入れに関する計画
第5章　災害ボランティアの受入れに関する計画

# 津市災害時受援計画令和6年度修正の概要②

## 内容2 救助関係機関等との連携体制の整理及び救助活動拠点等の選定

【修正概要】

◆ 被災直後の道路状況に基づき、広域応援部隊の進出拠点と災害現場の救助活動拠点施設等を結ぶ独自の優先啓開ルートを選定

**救急想定ルート**

各消防署から救出救助重点地域までの道路や自衛隊、警察、消防、医療機関の周辺道路など

**受援想定ルート**

広域応援部隊の進出拠点から救助活動拠点までの道路など

◆ 被害想定に基づき、地震・津波により特に甚大な被害が予想される沿岸部の区域を活動区域選定の参考とするため、「救出救助重点地域」として選定

### ▼ 三重県広域受援計画で定める進出・救助活動拠点

| | 施設名 | 自衛隊 | 警察 | 消防 |
|---|---|---|---|---|
| 進出拠点 | 安濃SA（下り線） | ○ | ○ | ○ |
| | 安濃SA（上り線） | ○ | ○ | |
| | 名阪関ドライブイン | | | ○ |
| 救助活動拠点 | 津市産業・スポーツセンター | | ○ | ○ |
| | 安濃中央総合公園 | | ○ | ○ |
| | HOWAパーク | ○ | ○ | ○ |
| | 町民の森公園 | ○ | | |
| | 北部運動広場 | | | ○ |
| | 北消防署※ | | | ○ |
| | 白山総合文化センター | | | ○ |
| | 津市モーターボート競走場 | | | ○ |
| | 道の駅美杉 | | | ○ |

※次回の三重県広域受援計画修正への反映手続き（追加修正）中

### ▼ 救出救助重点地域

| 地域名 | | 主な地区名 |
|---|---|---|
| 河芸地域 | | 豊津、上野、千里ヶ丘、黒田 |
| 津地域 | 一身田・大里地区 | 白塚、栗真、一身田、大里 |
| | 橋北・西郊（北部）地区 | 北立誠、南立誠、安東 |
| | 西橋内・敬和地区 | 養正、新町、敬和 |
| | 橋南・西郊（南部）地区 | 修成、育生、藤水、神戸 |
| | 南郊地区 | 高茶屋、雲出 |
| 香良洲地域 | | 香良洲全域 |
| 久居地域 | | 桃園 |

# 津市災害時受援計画令和6年度修正の概要③

## 内容3　受援対象業務の具体化

【修正概要】

- 救助関係機関等を円滑に受け入れ、効果的な受援業務が実施できるよう、全体の流れを可視化
- 初動（12時間以内）から支援活動及び調整（72時間越）までの受援対象業務を段階的にフローチャート化

▼ 受援フローチャート（自衛隊の例）

| | 自衛隊の行動 | 市災害対策本部の行動 |
|---|---|---|
| 12時間以内 | 発災<br>①情報の収集<br>第33普通科連隊の初動<br>②災害派遣（要請、自主）<br>③リエゾンの派遣<br>④初動対処部隊の活動<br>・被害情報の把握<br>・道路状況の把握 | 発災<br>①職員参集、情報収集、市災害対策本部設置<br>市災害対策本部の初動<br>②災害派遣要請の求め、又は通知<br>③リエゾンの受入れ<br>④自衛隊への情報共有<br>・収集した情報の集約、分析<br>・地域特性（木造家屋密集、津波浸水、土砂災害警戒区域、孤立集落等の把握）等 |
| 24時間以内 | 災害派遣部隊の増強<br>⑤災害派遣部隊の増強<br>⑥広域応援部隊の進出 | 広域応援部隊の受入れ<br>⑤災害対策本部会議、合同調整会議等の開催<br>・派遣部隊の活動状況、ニーズ、問題点の把握<br>・会議内容の共有<br>⑥広域応援部隊の情報収集、受入調整<br>・進出拠点、救助活動拠点、進出経路等<br>・三重県への受入報告 |
| 72時間以内 | 広域応援部隊の行動<br>⑦広域応援部隊の活動 | 広域応援部隊の活動調整<br>⑦広域応援部隊の活動支援<br>・救助要請ニース等の把握及び共有<br>・派遣部隊の活動状況の把握<br>・所望の資機材、設備等に係る調整、通報 |
| 72時間越 | 長期活動から派遣終了<br>⑧撤収を見据えた活動<br>・派遣活動の引継ぎ<br>⑨撤収要請受理<br>⑩災害派遣活動終了、撤収 | 派遣部隊の支援、引継ぎ<br>⑧活動業務の終了、継続の検討<br>・派遣活動の引継ぎ、内容の検証<br>⑨撤収要請<br>⑩受援終了 |

# 津市道路啓開計画策定の概要①

**想定被害**　理論上最大クラスの南海トラフ地震（マグニチュード9．０）

**道路啓開の位置づけ**　発災 → 初動（・人命救助 ・道路啓開 ・地域支援） → 復旧（・応急復旧 ・本格復旧） → 復興

※道路啓開とは、道路本体の損傷、道路上の崩落土、建物などのガレキ、路上車両などの交通支障物により塞がれた道路を切り開き、緊急車両等の通行を確保すること。

## 優先啓開ルートの選定

**基本**　くしの歯ルート、三重県緊急輸送道路と主要な防災拠点等を連絡する道路、孤立集落を解消する道路等を選定し順次開設

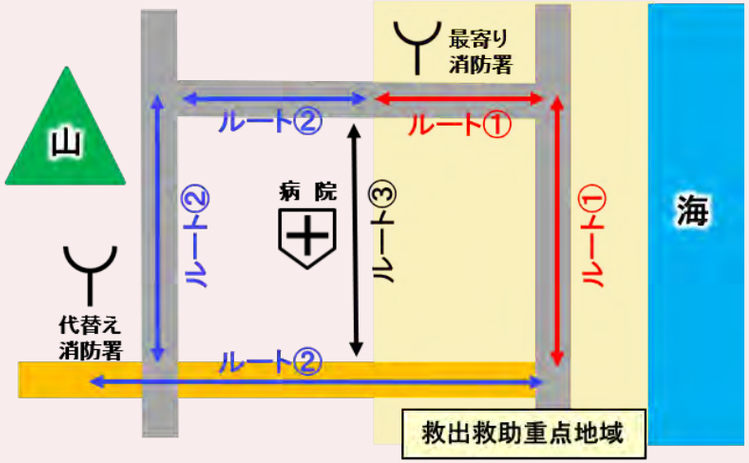
＋

広域応援部隊受入れまでの間に優先する啓開ルートを選定

- 救急想定ルート
- 受援想定ルート

## 救急想定ルート

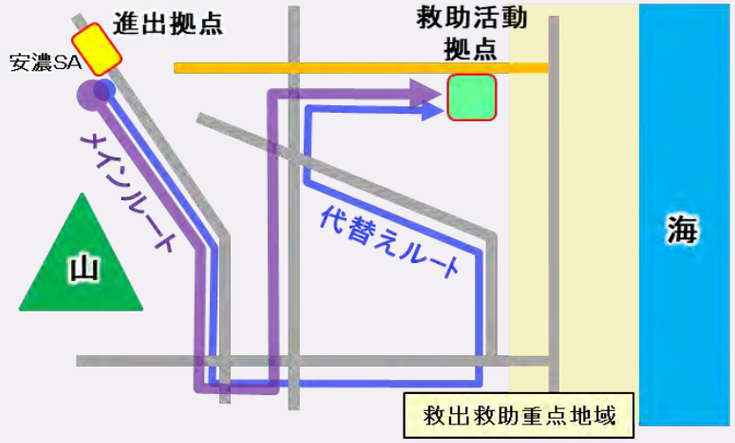
発災後の第1局面において、負傷者の救命救急活動や消防活動を円滑かつ迅速に実施できるよう、各消防署から救出救助重点地域へのルートを事前に定めたもの




ルート①（最寄り消防署からのルート）
ルート②（最寄り消防署が浸水した場合の代替え消防署からのルート）
ルート③（医療機関周辺のルート）

## 受援想定ルート

広域応援部隊が本市到着後即座に活動可能となるよう、自衛隊、警察、消防の各進出拠点から救助活動拠点候補地までのルートを事前に定めたもの




メインルート（最も行きやすいと思われるルート）
代替えルート（メインルートが使えない場合のルート）

【凡例】 くしの歯ルート　三重県緊急輸送道路

# 津市道路啓開計画策定の概要②

## 指揮系統

**津市災害対策本部**

リエゾン
（消防・警察・自衛隊）

**拠点事務所**
**（三重河川国道事務所）**

**道路管理者（国・県・津市）**

拠点事務所に参集した国・県・津市の三者で道路啓開ルートを決定し、国道・県道・市道の一体的な道路啓開を建設業協会へ指示

**建設業協会（津・一志支部）**

**現 場**

## 道路啓開のタイムライン

発災

| | | |
|---|---|---|
| 12h | 第1局面 | 救急想定ルート<br>受援想定ルート |
| 24h | 第2局面 | くしの歯ルート<br>県緊急輸送道路（第1・2次） |
| 36h | 第3局面 | 県緊急輸送道路（第3次） |
| 48h | 第4局面 | 本市重点啓開道路<br>（孤立集落を解消） |
| 72h | 第5局面 | 本市重点啓開道路以外<br>（生活道路等） |

# 問い合わせ

## 津市災害時受援計画について


**危機管理部防災室**
〒514-8611　津市西丸之内23番1号
TEL　:059-229-3104
FAX　:059-223-6247
E-Mail:229-3281@city.tsu.lg.jp


## 津市道路啓開計画について


**建設部建設政策課**
〒514-8611　津市西丸之内23番1号
TEL　:059-229-3196
FAX　:059-229-3345
E-Mail:229-3196@city.tsu.lg.jp

# 大門・丸之内地区のシェアサイクル導入実験が３月３１日まで延長

## 令和７年度は津市がシェアサイクル実証実験を計画

令和７年２月２０日

# エリアプラットフォームが実施中の導入実験

**大門・丸之内地区は駅など交通拠点から一定の距離があり、
アクセス性やエリア内の回遊性の強化が課題となってきた**

**公共交通を補完する手軽な交通手段であるシェアサイクルの
導入実験を本市も参画する官民連携組織である
エリアプラットフォーム「大門・丸之内　未来のまちづくり」が実施**

サイクルポート位置図

## 実施エリア

大門・丸之内周辺地区、
津駅、津新町駅、
津なぎさまち

## 運営事業者

株式会社Luup

## サイクルポート及び配置自転車数

22か所／55台
（当初16か所から増設）

## 実施期間

令和6年8月26日（月）～
令和7年2月25日（火）

## 利用料金

10分まで200円、
以降1分15円（税込）

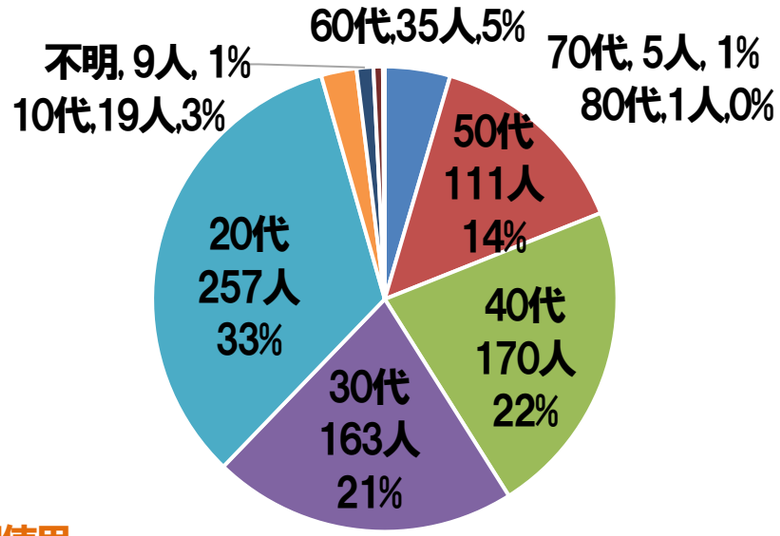
# 導入実験のこれまでの実績（～R7.1.25）

## 利用状況

| 乗車回数 | 利用人数 |
|---|---|
| 2,194回 | 770人 |

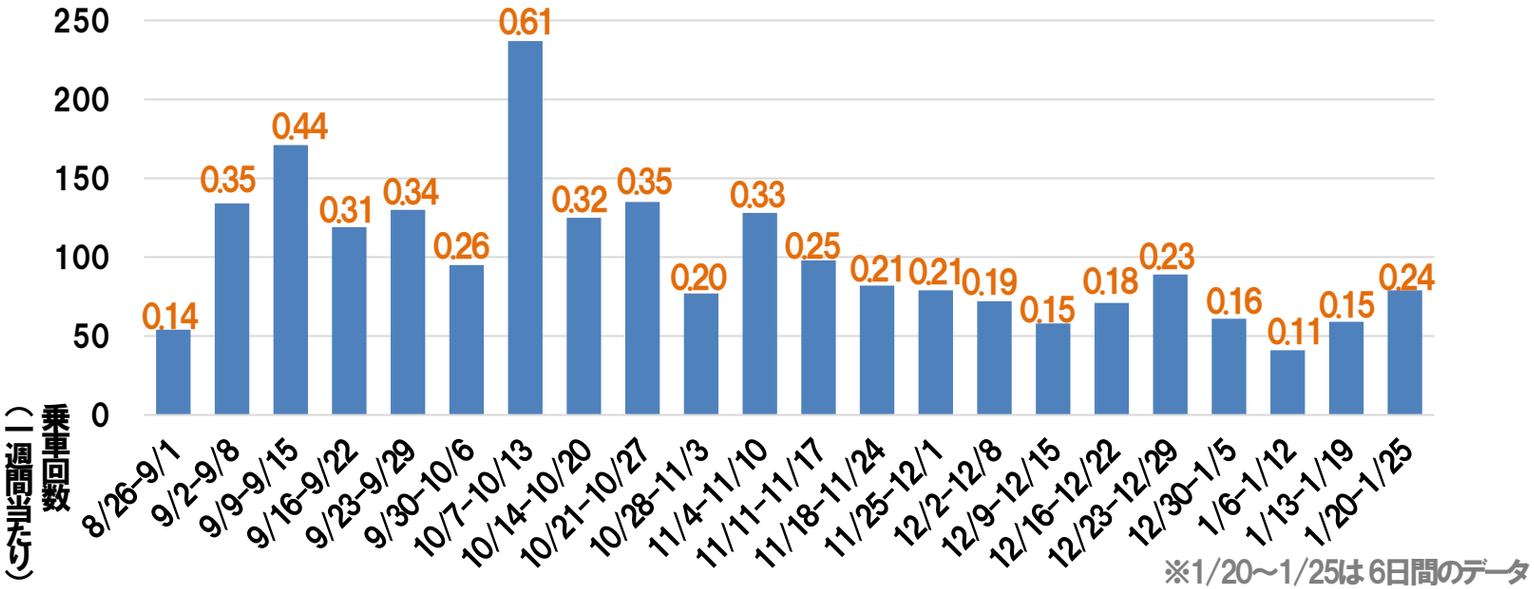
※R6. 8. 26～R7. 1. 25

## 年代別利用者数




## 乗車回数・稼働率の推移

※稼働率:一日当たり一台のシェアサイクルが何回使用されたかを示す指標




※1/20～1/25は6日間のデータ

## サイクルポート別乗車回数・降車回数

| サイクルポート | 乗車 | 降車 |
|---|---|---|
| 津駅東口 | 495 | 500 |
| 津新町駅（北公共駐輪場） | 288 | 291 |
| センターパレス | 173 | 173 |
| だいたて駐車場入口 | 131 | 128 |
| 津フェニックスビル前 | 125 | 125 |
| 津駅西口（津偕楽公園前駐輪場） | 115 | 113 |
| お城東駐車場（北側） | 115 | 112 |
| 津市役所（東側駐輪場） | 106 | 109 |
| 津観音（五重塔西側） | 102 | 100 |
| 津市役所教育委員会庁舎 | 88 | 87 |
| 三交不動産丸の内パーキング | 82 | 83 |
| ZTV丸之内店前 | 72 | 67 |
| 松菱（北側駐輪場） | 68 | 67 |
| お城公園（東側） | 62 | 56 |
| 津なぎさまち | 47 | 48 |
| ダーツバーFix前※ | 29 | 31 |
| 百五銀行丸之内本部棟 | 23 | 24 |
| プラザ洞津※ | 21 | 25 |
| LTSビル※ | 17 | 18 |
| 花やの六さん※ | 16 | 17 |
| フェニックスホテル※ | 13 | 14 |
| 外壁塗装AZABU津営業所前※ | 6 | 6 |

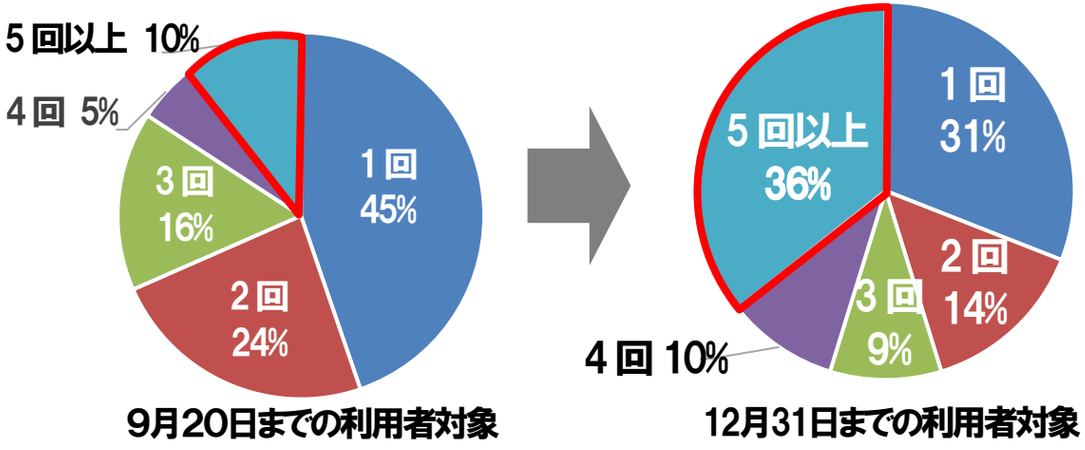
※は、令和６年１１月に増設

# アンケートの結果とこれまでの実績の分析①

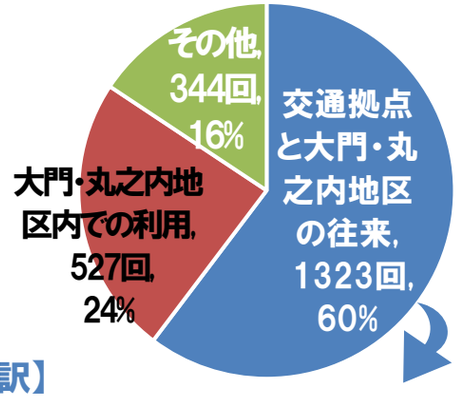
※アンケート調査：R6.8.26～R6.12.31にエリアプラットフォームが実施した導入実験でシェアサイクルを利用した人に対し、Web上で実施

## 利用回数（アンケート結果）

5回以上の利用者が1／3以上になり、反復して利用される手軽な交通手段としての認知が進む




## 利用状況（利用実績の分析）

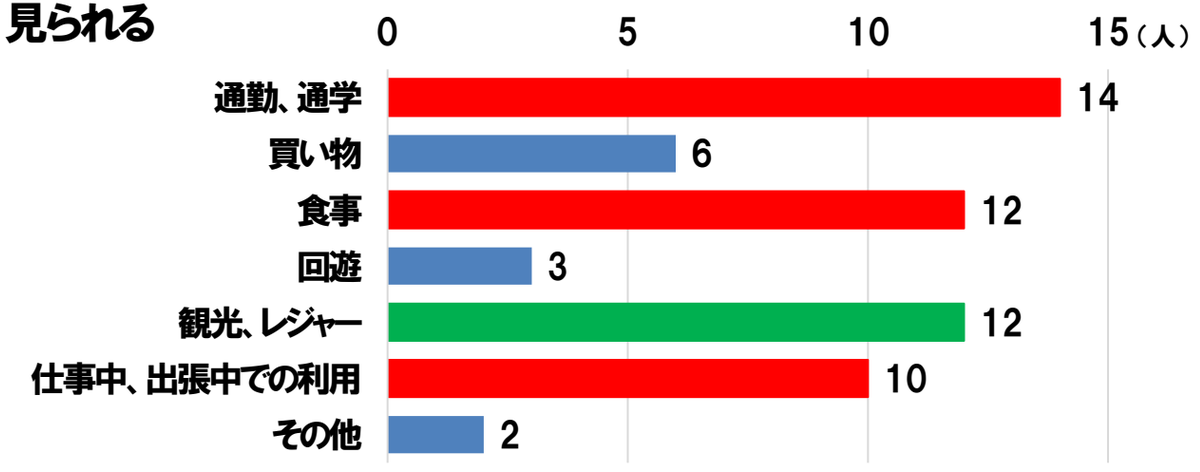



【内訳】
津駅⇔大門・丸之内地区内　808回
津新町駅⇔大門・丸之内地区　477回
なぎさまち⇔大門・丸之内地区　38回

交通拠点と大門・丸之内地区の往来が約60%、大門・丸之内地区内での利用が約24%、手軽な交通手段として選択肢が増え、交通拠点からの来訪性や地区内の**回遊性**に効果大

## 利用目的（アンケート結果）

通勤、食事、仕事など手軽な利用だけでなく、観光・レジャーでの利用も見られる




## アンケートにおける自由記載の意見

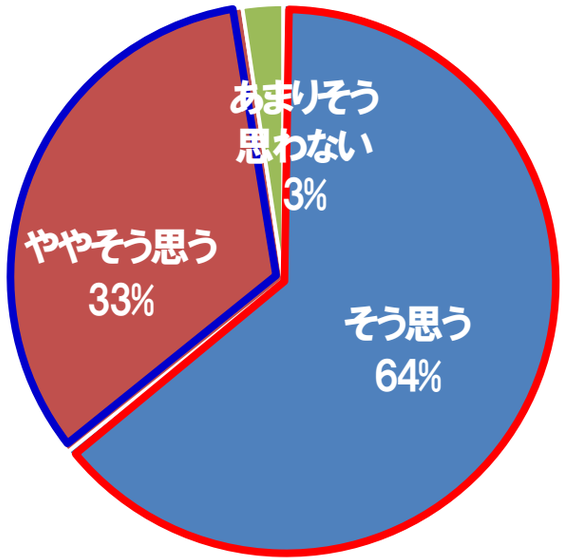
- 気軽に乗れて便利
- 交通手段の選択肢が増えて良い
- スムーズな観光ができる

**手軽な交通手段としての認知が進み、大門・丸之内地区への来訪性や地区内の回遊性にも効果大**

# アンケートの結果とこれまでの実績の分析②

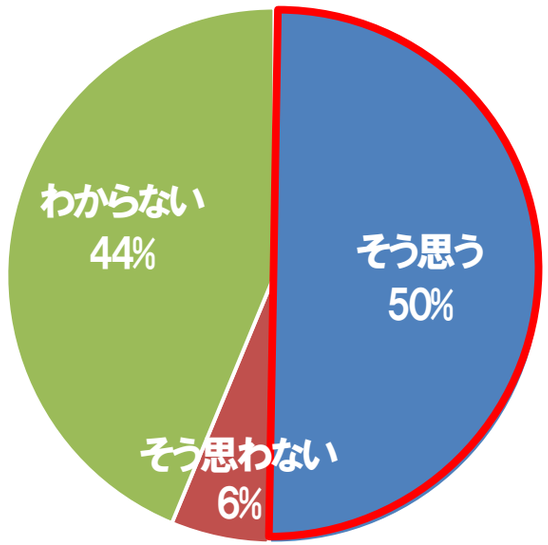
## 今後の継続利用（アンケート結果）

約97％の利用者が継続して利用したいと思っている




## 2月25日以降の継続実施

そう思う（継続してほしい）という回答が半数を占める




※10月13日津まつりでのアンケート結果

利用者の多くはシェアサイクルの継続的な利用を望んでおり、
今後の継続実施を求めている

# エリアプラットフォームでの延長決定

**継続実施を求める声を受けて、エリアプラットフォーム「大門・丸之内　未来のまちづくり」にて**
**シェアサイクル導入実験の実施期間の延長を検討**

**関係各所への確認を実施**

シェアサイクル運営事業者、サイクルポート地権者等
▶ 延長の対応は可能との回答

令和７年２月４日（火）　エリアプラットフォーム　実行チーム全員会議で延長について協議

令和7年2月19日（水）　エリアプラットフォーム　全体会議で報告し、延長を決定

**当初の実施予定期間**　令和6年8月26日（月）～令和7年2月25日（火）

**延長後の実施期間**　令和6年8月26日（月）～令和7年**3月31日（月）**

**令和7年3月31日（月）まで**
**今までどおりシェアサイクルをご利用いただけます**

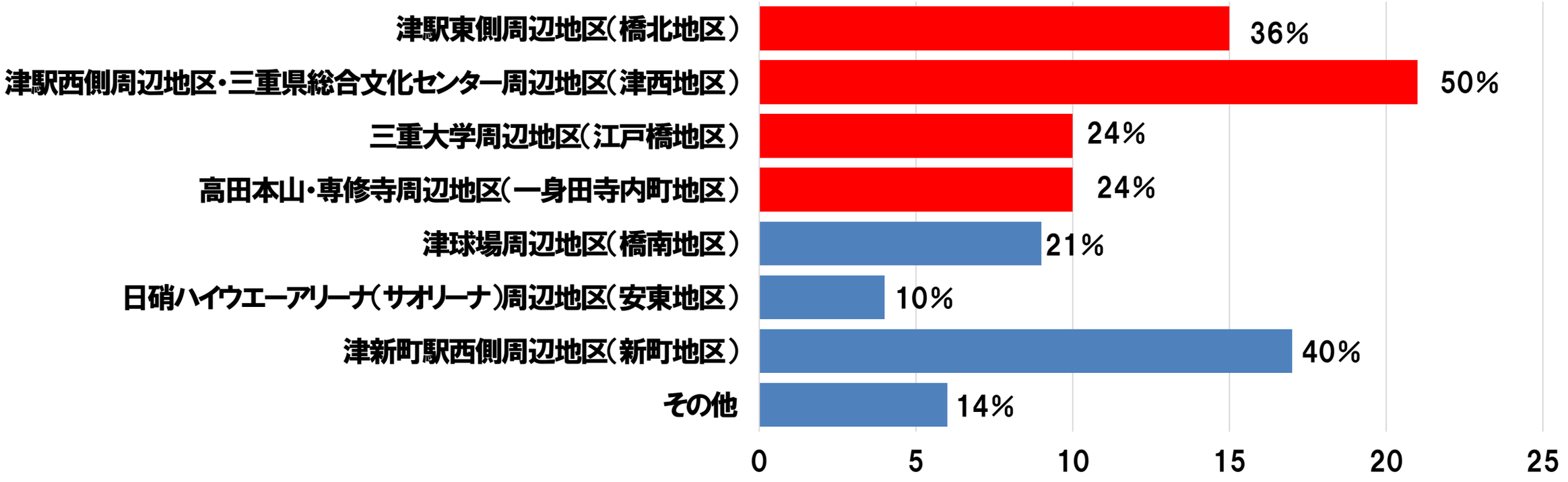
# 津市による令和７年度のシェアサイクル実証実験の計画

| | |
|---|---|
| 目　的 | 津駅を中心として実施エリアを拡大し、シェアサイクルを実験的に導入することで、ラストワンマイルの移動円滑化と回遊性向上の可能性を検証し、将来的な津駅の交通結節点機能の強化につなげる |
| 事業費 | 令和７年度当初予算計上額　９４３万８千円 |
| 期　間 | 令和７年４月１日～令和８年３月３１日 |

# シェアサイクルの利用拡大に対する利用者の意見

## シェアサイクルの利用拡大が望まれる地区（アンケート結果）

（複数回答）




## アンケートでのポートに関する主な意見

- とても便利なため、拡大して続けてほしい
- 対応地域が拡大されれば、さらに利用したい
- バスがあまり網羅できていないエリアにポートが増えれば、利用が広がる
- ポートが近所にできれば、たくさん利用したい

# シェアサイクルの必要性

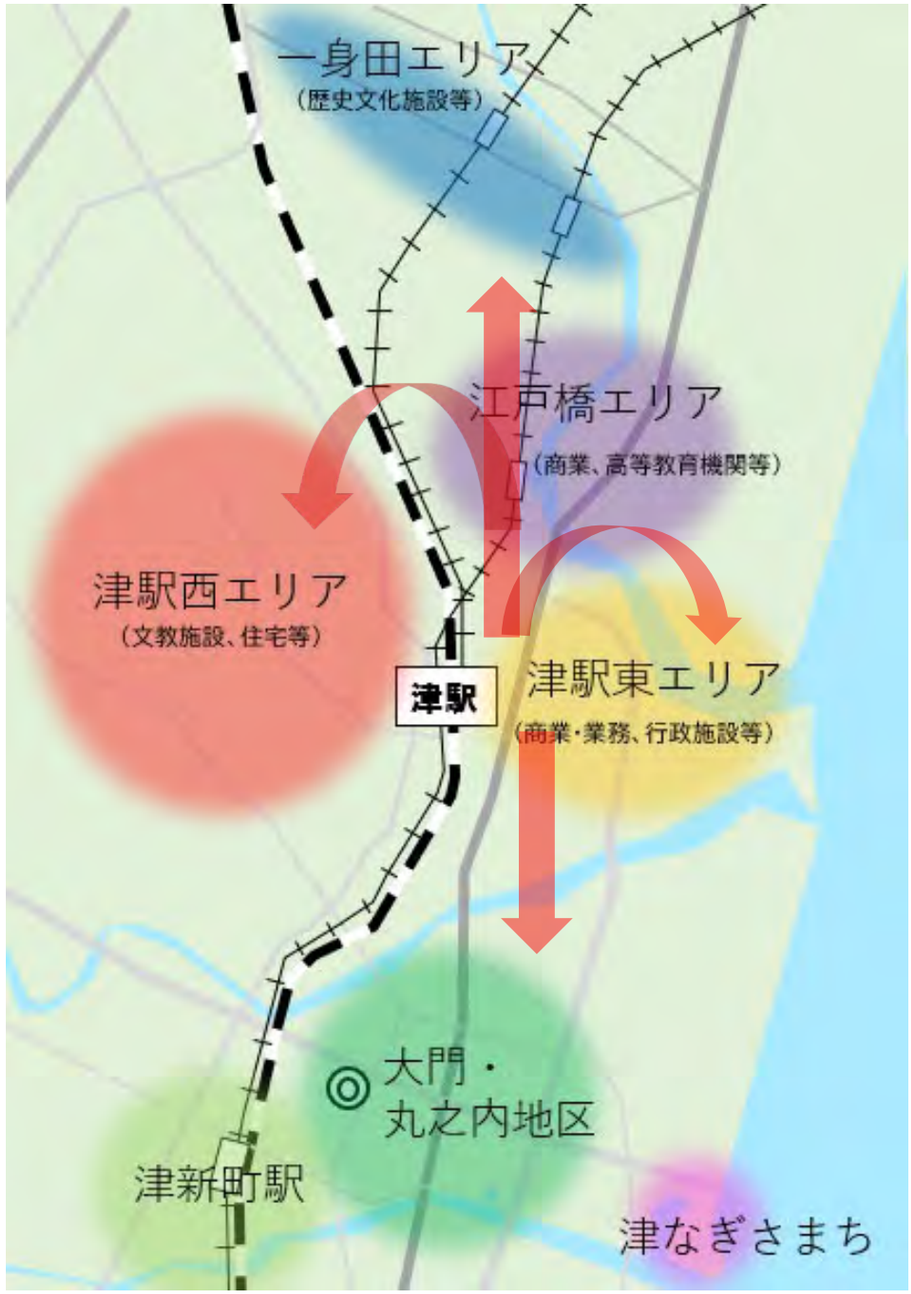
| | |
|---|---|
| **視点1**<br>**津駅周辺の取組** | **交通拠点「津駅」の機能強化を目指す取組（バスタプロジェクト）を進めており、**駅とまちとの**移動円滑化**と**回遊性向上**につながる新たなモビリティの導入が検討されている |
| **視点2**<br>**津駅周辺の状況** | 津駅西側には三重県立美術館・三重県総合文化センター・MieMu等の文化施設があり、津駅東側には商業施設・業務施設が多くあるが、歩くには遠く、バスの本数も限られるため、**交通の選択肢が少なく不便** |
| **視点3**<br>**ニーズ** | エリアプラットフォーム「大門・丸之内　未来のまちづくり」によるシェアサイクル実験では、**津駅東口での乗車数・降車数が最も多く、ニーズが高い** |

**津市が事業主体となり、津駅を中心とした**
**新たな取組が求められている**

# 津駅の交通結節機能強化に向けたエリア展開

**大門・丸之内地区に加え**
**新たに津駅を中心に**
**津駅東、津駅西、江戸橋、**
**一身田エリアに展開**

**交通結節点機能を強化**
**回遊性を向上**




## 津駅西エリア
（文教施設、住宅地が集積）

利用拡大を求める声　50%

〈津駅西エリアに関する主な意見〉
- 三重県総合文化センター付近にもポートを設置してほしい
- 津駅西口周辺に坂が多いため電動自転車の導入はとてもいい

## 一身田エリア（歴史文化施設が集積）

利用拡大を求める声　24%

〈一身田エリアに関する主な意見〉
- 中心部から離れた観光地にポートがあれば便利

## 江戸橋エリア
（商業施設、高等教育機関が立地）

利用拡大を求める声　24%

〈江戸橋エリアに関する主な意見〉
- 三重大学周辺にも設置してほしい

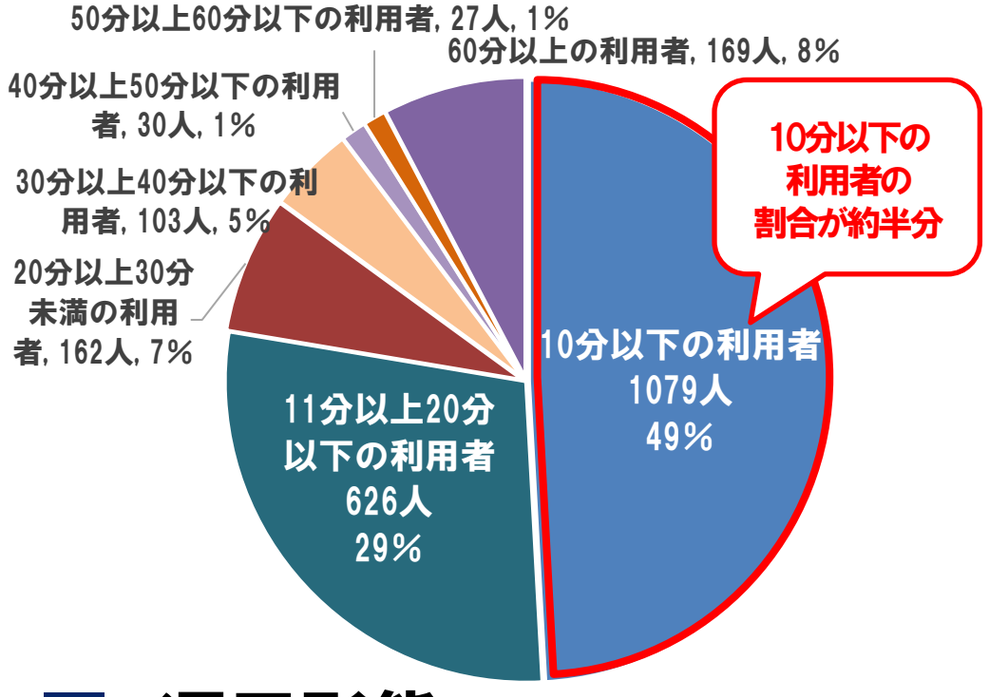
## 津駅東エリア
（商業・業務・行政施設が集積）

利用拡大を求める声　36%

〈津駅東エリアに関する主な意見〉
- 津駅東口のポートはいつも満車なので駐車可能台数を増やすかポートを増設してほしい

# 運用形態

## ■ 利用時間別の利用者数（利用実績の分析）




本市における利用実態として、利用者の約半数が10分以下の利用で、基本料金（200円/10分）で走行可能な時間を使い切れておらず、エリアプラットフォームが実施したアンケートにおいても10分未満の料金の見直しを求める声が多い

利用者の利用実態に合わせて料金体系を見直すとともに台数やポート数を増加するなど、将来的な需要増に繋げる

## ■ 運用形態

| | 現　行 | R7．4以降 |
|---|---|---|
| 料金 | 200円/10分　以降15円/1分（税込） | 基本料金50円＋15円/1分（税込） |
| モビリティ | 電動アシスト自転車 | 電動アシスト自転車、電動キックボード |
| 台数 | 55台 | 80台（予定） |
| ポート数 | 22箇所 | 35箇所程度 |

# 他都市の取組との比較

## まちなかの新たな交通手段としての確立を目指す地方都市の取組状況（現時点）

| | | 津市（人口約27万人） | 栃木県宇都宮市（人口約51万人） |
|---|---|---|---|
| 取組開始時期 | | R6.8.26 | R4.12.1 |
| 実験期間 | | 約6ヶ月（R7.4～継続実施予定） | 1年4ヶ月 |
| 運用台数 | | 55台 | 当初80台⇒400台以上（電動キックボード含む） |
| ポート数 | | 22か所 | 当初10か所⇒100か所以上 |
| 稼働率 | 開始時 | 0.32回転 | 0.3回転 |
| | 半年経過時 | 0.24回転（R7.1時点） | 0.6回転（R5.6時点） |
| | 2年経過時 | - | 1.7回転 |

市社会実験からR6.4に**民間事業者の自主事業に移行**

## 民間事業者の自主事業化移行の可能性

✓ 開始時の稼働率は0.32回転であったが、令和6年8月～10月の平均稼働率は0.34回転となり、さらに、気候が良く津まつりなどのイベントがある10月には0.61回転を記録するなど、稼働率は堅調に上昇傾向

スタート時には行政の支援が必要だが、既に自主事業化に移行している宇都宮市の事例では、ポートの充実、エリアの拡大及び運用台数の拡大により稼働率が大幅に上昇していることから、本市においても同様に**マーケットとして民間事業者による自主事業化を目指す**

# 問い合わせ

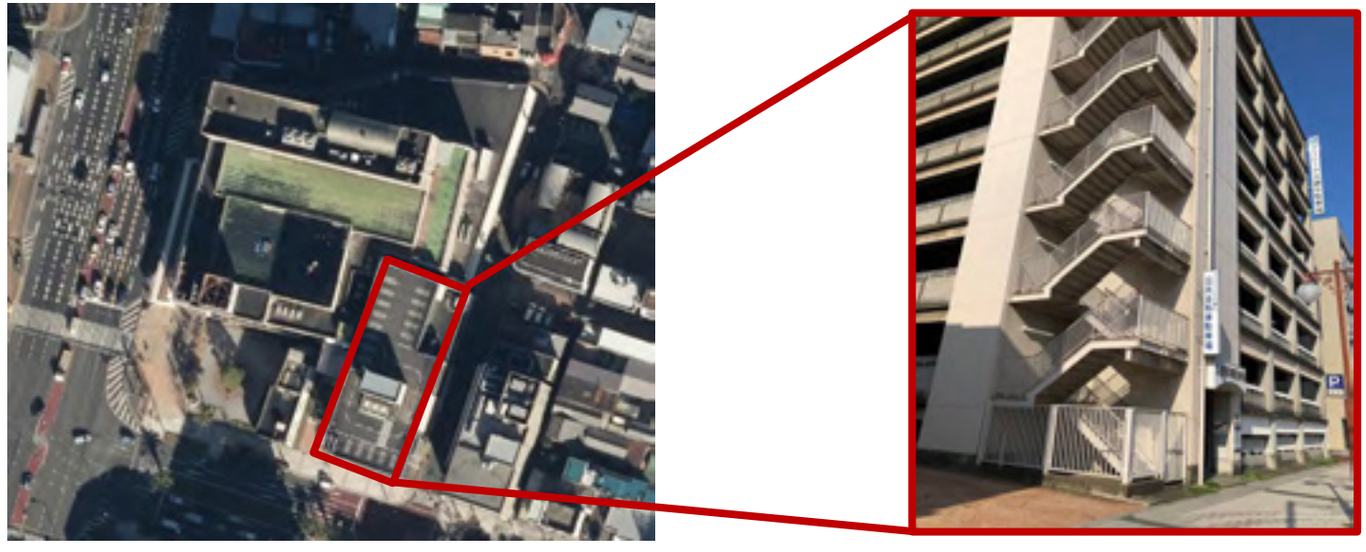
**都市計画部都市政策課**
**大門・丸之内まちづくり・新都心軸担当**
〒514-8611　津市西丸之内23番1号
TEL　:059-229-3183
FAX　:059-229-3336
E-Mail:229-3177@city.tsu.lg.jp

**建設部建設政策課**
**建設政策・津駅周辺道路空間整備担当**
〒514-8611　津市西丸之内23番1号
TEL　:059-229-3194
FAX　:059-229-3345
E-Mail:229-3196@city.tsu.lg.jp

# 令和7年4月１日から
# フェニックス通り駐車場を民営化

## 令和7年2月20日

# 市営フェニックス通り駐車場の概要

| | |
|---|---|
| 所　在　地 | 津市大門7番32号 |
| 構　造　等 | 鉄骨造　地下1階9階建て |
| 規模及び<br>駐車場運営等 | ・延べ床面積　7536.65㎡<br>・駐車台数　161台<br>・令和4年5月より無人化及び24時間営業開始<br>・無料公共自転車等駐車場が併設 |
| 外　　観 |  |

# 市営フェニックス通り駐車場の売却までの経緯

## 昭和60年3月　市営フェニックス通り駐車場設置

商業、業務活動の中心地域における自動車交通の増大による著しい自動車需要の増大に対応し、交通の円滑化と商業及び業務活動の発展に資することを目的に、**都市計画駐車場**として位置付け

## 令和2年3月　津市駐車場事業経営戦略を策定

利用者の利便性を確保しつつ、事業の運営に必要な収入を確保するなど、安定的な経営の継続に向けて、今後１０年間の駐車場の経営戦略を策定

運営手法について指定管理・PFI（RO方式）・貸付・売却等、民間活力導入の方法を研究

設置から39年

## 令和6年8月　市議会全員協議会

施設の老朽化を踏まえ、今後も都市計画駐車場として効率的に運営する条件を付した上で駐車場（建物）を民間事業者（株式会社津センターパレス）へ売却し、土地は賃貸とすることを協議

市営フェニックス通り駐車場の民間への売却方針を固め、株式会社津センターパレスと交渉を開始

# 民営化までのスケジュール

| | |
|---|---|
| 令和6年<br>10月 | 株式会社津センターパレスが市営フェニックス通り駐車場購入の意思表示<br>▼<br>株式会社津センターパレスを売却先として、売却手続を開始 |
| 12月20日 | 「津市駐車場事業の設置等に関する条例の一部改正に関する条例」が<br>市議会定例会で可決（施行日　令和７年４月１日） |
| 令和7年<br>2月 | 「公有財産仮売買契約書」及び「土地賃貸借仮契約書」を<br>株式会社津センターパレスと締結<br>※　仮契約は、令和７年４月１日午前０時をもって、本契約として成立 |
| 3月31日 | 市営フェニックス通り駐車場　廃止 |
| 4月1日 | 民営化 |

利用者の方は、間断なく利用が可能

# 民営化後の駐車場

| | |
|---|---|
| 営業開始日 | 令和7年4月1日（火） ※24時間営業を継続 |
| 所有者 | 株式会社　津センターパレス |
| 賃借人 | 株式会社　リオ・ホテルズ北海道 |
| お客様窓口 | ホテル津センターパレス |
| 利用料金 | 駐車料金：入庫後30分以内は無料　以降30分毎に100円（1日の上限 1,200円）<br>定期駐車券：月額　12,600円<br>回数駐車券：100円券・200円券を発行<br>現行の市営駐車料金と同じ |
| その他 | ※駐車場地下1階の自転車等駐車場も、これまでと同様ご利用いただけます。<br>※今後、同社の負担で緊急性の高い設備等を優先に施設改修を実施します。 |

# 市営回数駐車券の取扱い

## 1 民営化後も使用していただくことができます

- 市営回数駐車券（旧回数駐車券）は、半年間は民営化後の駐車場でご使用いただくことができます。

  **使用期限　令和7年9月30日**

- 旧回数駐車券は、市営アスト駐車場・市営お城東駐車場であれば、いつでも使用していただくことができます。

## 2 民営化後の回数駐車券と交換することもできます

- 旧回数駐車券は、民営化後の回数駐車券（新回数駐車券）と手数料なしで交換ができます。

  **交換期間**

  **令和7年4月1日～令和8年3月31日**

# 市営回数駐車券の交換

## 市営回数駐車券の交換方法

**市営回数駐車券は、民営化後の100円券または200円券の回数駐車券に手数料なしで交換できます。**

**発行済み市営回数駐車券 ※1**

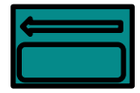
- 50円券×2枚
- 100円券×1枚
- 200円券×1枚

**手数料なしで交換**

発行済み50円券は偶数枚で100円券又は200円券に交換

**民営化後の回数駐車券 ※2**

- 100円券×1枚
- 100円券×1枚
- 200円券×1枚



※1 発行済み50円券1枚の交換はできませんので、早めにご使用ください

※2 この回数駐車券は市営アスト駐車場・お城東駐車場ではご使用できません

## 交換窓口（予定）

| | |
|---|---|
| 交換窓口 | ホテル津センターパレス フロント（津市大門7－15） |
| 取扱期間 | 令和7年4月1日～令和8年3月31日　※土日祝日を含む |
| 取扱時間 | 0:00から24:00まで（24時間） |

# 問い合わせ

**津市商工観光部商業振興労政課**

TEL:059-229-3114

FAX:059-229-3335

E-Mail:229-3114@city.tsu.lg.jp

来て 見て 体験！！

# 消防フェア 2025 春

## With おやつカンパニー

3/1(土) 開催

ベビースターキャラクター
ホシオくん

令和7年2月20日

# 消防フェア2025春の概要

**目　的**

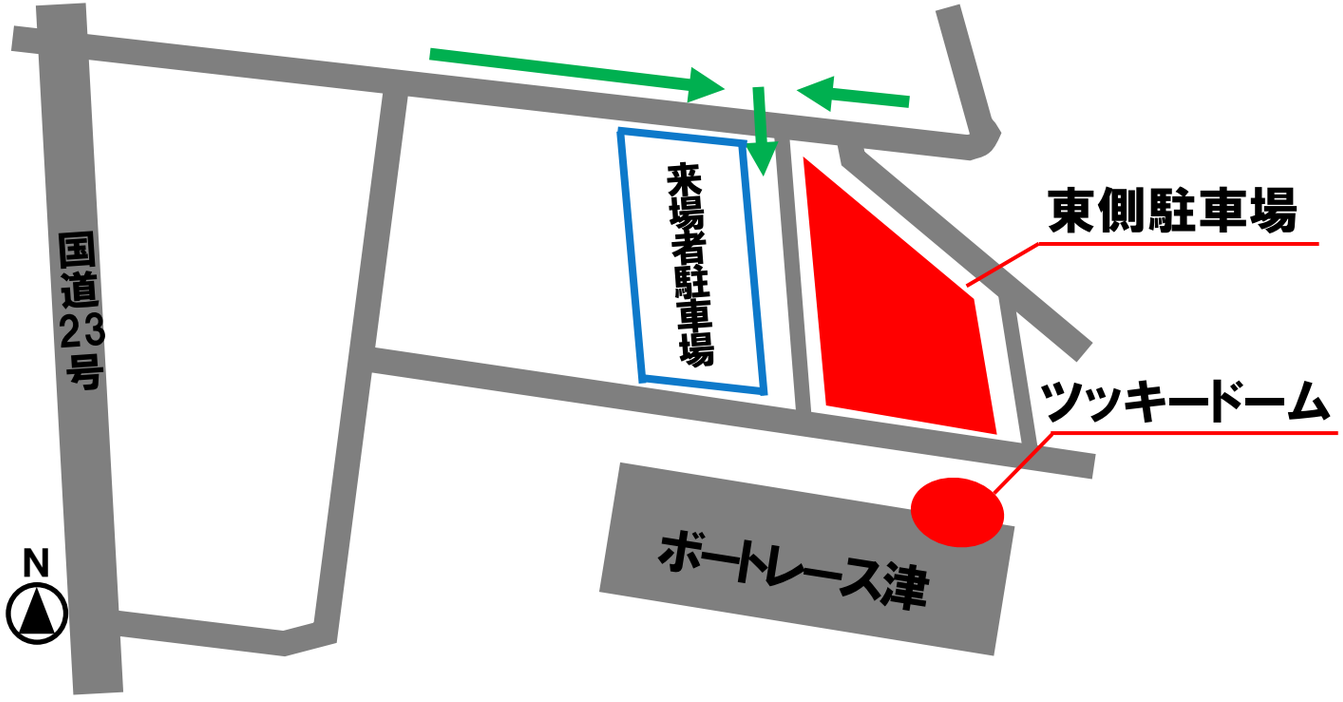
令和7年春季火災予防運動の一環として、津市に本社があり全国的に知名度のある株式会社おやつカンパニーと連携し、来場者に対して防火対策を推進し、地域における防火対策の充実を図ること

**開催日**

令和7年3月1日（土）　9時00分～12時00分　※警報発表時は中止

**開催会場**

ボートレース津（ツッキードーム・東側駐車場）※当日、ボートレースは開催していません



ツッキードーム

# 今回イベントの特徴

**これまでは消防署単位で実施していた消防フェアを**
**今回は消防本部全体で**
**会場規模やイベント数をUPして開催！**

消防フェア2024inいちしの様子

| | （前回）<br>消防フェア2024inいちし | | 消防フェア2025春<br>Withおやつカンパニー |
|---|---|---|---|
| 会場面積 | 約2,200㎡<br>（屋外会場のみ） | 約3倍！ → | 約7,000㎡<br>（屋外会場　約6,000㎡<br>屋内会場　約1,000㎡） |
| イベントブース数 | 12ブース | 約1.5倍！ → | 18ブース |
| 来場者数 | 約1,500人 | | 約2,200人（見込み） |

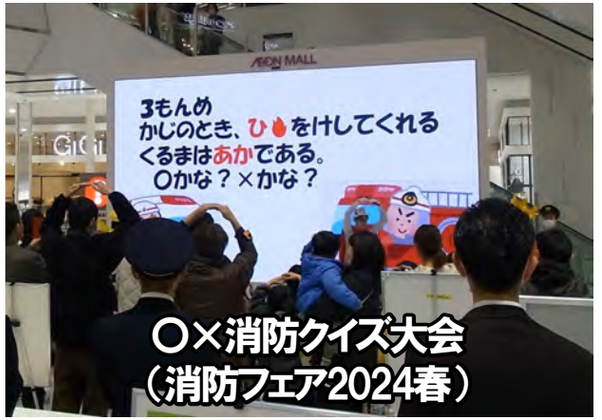
# 主な屋内イベント内容

## １日消防長委嘱式

市長からホシオくんに
「１日消防長」の委嘱状等
を手渡します

## ○×消防クイズ大会

津クイーンの司会で、ホシオくん、
シロモチくんと火災にまつわる
クイズ大会で学ぼう



○×消防クイズ大会
（消防フェア2024春）

## 消防ファッションショーwith消防音楽隊

消防音楽隊の演奏に合わせて制服、防火服、活動服、
救急服、救助服、水難救助服（ドライスーツ）を紹介！

## 写真撮影会

ホシオくん、シロモチくん
と一緒に写真を撮ろう

## 消防音楽隊によるミニコンサート

津クイーンと消防音楽隊のコラボ
によるミニコンサートを開催

消防音楽隊
（令和7年消防出初式）

# 主な屋外イベント内容

## 消火体験

消防ホースの延長や放水体験をしてみよう

津クイーンがホース延長と放水を体験
ホシオくんとシロモチくんが応援！

## 訓練展示

ツッキードーム東面にて、ホシオくんが救助訓練を指揮
はしご車を使用した訓練の展示を見てみよう

ベビースターキャラクター
ホシオくん

**先着１００名様（お子様限定）に消防グッズ＆
おやつカンパニー商品をプレゼント！**

# イベントスケジュール

## ■ 屋内イベントブース

9:00～12:00　ミニ防火服着装体験、㈱おやつカンパニーのブース等

## ■ 屋外イベントブース

9:30～12:00　消火体験、ミニ消防車・救急車乗車体験等

| 屋内イベント（ツッキードーム） | | 屋外イベント（東側駐車場） | |
|---|---|---|---|
| 9:00～ | 消防フェア開始 | | |
| | ホシオくんの紹介等 | | |
| 9:05 | ● 市長からホシオくんへの1日消防長委嘱式 | | |
| 9:20 | ● ○×消防クイズ大会 | | |
| 9:40 | ● 消防ファッションショーwith消防音楽隊 | | |
| 10:05 | ● ホシオくん、シロモチくんとの写真撮影会 | | |
| 10:35 | ● 消防音楽隊によるミニコンサート | | |
| | | 10:55 | ● 消火体験 |
| | | 11:15 | ● 訓練展示 |
| 12:00 | 消防フェア終了 | | |

※　雨天時は一部内容を変更して実施

# 問い合わせ

**津市消防本部予防課**
**〒514-1101　津市久居明神町2276番地**
**TEL:059-254-0356**
**FAX:059-256-7755**
**E-Mail:254-0354@city.tsu.lg.jp**

**※「ベビースター」「ホシオくん」は株式会社おやつカンパニーの登録商標です。**